

日本放射線影響学会における 男女共同参画への取り組み



一般社団法人

日本放射線影響学会
THE JAPANESE RADIATION RESEARCH SOCIETY

1. 日本放射線影響学会について

日本放射線影響学会は、1959年、放射線の人体と環境に対する影響とその機構の解明、ならびに利用への貢献を目指して学際的な放射線科学研究を推進する場として設立されました。設立当初から、物理、化学、生物、環境、医学、工学、放射線防護、被ばく医療などの幅広い分野の研究者が集い、分野横断的な研究交流の場としての機能を果たしてきました。学術集会として、1959年10月の第一回大会を皮切りに毎年学術大会が開催されており、2020年10月には、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、第63回大会が「WEB開催」という形式で開催されます。また、学会誌として、1960年よりJournal of Radiation Research (JRR) を発行しており、2009年からは日本放射線影響学会 (JRRS) と日本放射線腫瘍学会 (JASTRO) の両学会の機関誌として、広く放射線科学に関連した研究成果を世界に発信しています。

本学会は、2015年4月に一般社団法人に移行しました。男女共同参画学協会連絡会には、2016年度よりオブザーバー学協会として加盟しています。

2. 日本放射線影響学会における女性会員の現状

(2020年5月31日現在)

	総数	女性会員数	女性会員比率
総会員	848名	194名	22.9%
学生会員	80名	27名	33.8%

2020年度の役員（理事・監事）中、女性は2名（総数10名）、社員（学術評議員）中、女性は9名（総数35名）である。

3. 男女共同参画に関連する活動

日本放射線影響学会キャリアパス・男女共同参画委員会は、2014年度に若手研究者支援活動の一環として設置された男女共同参画ワーキンググループを前身としており、2015年4月の一般社団法人化に伴い、専門委員会として設置されました。キャリアアップを支援する活動の企画や本学会における男女共同参画の実情を把握し、支援することを目的としています。2020年9月現在の当委員会の委員数は8名（男性4名、女性4名）です。

男女共同参画学協会連絡会で実施されている各種調査にも参加し、2017年度からは、学術大会における演題発表者等の属性調査も行い、女性会員の活動度の経年変化をモニターしています。

学会ホームページ内に、委員会のページを立ち上げており（下記URL）、活動状況を掲載しています。
https://www.jrrs.org/about/gender_equality.html

✓ 歴代委員長

- ・ 細谷 紀子（2020年度～）
- ・ 細谷 紀子（2018～2019年度）
- ・ 富田 雅典（2016～2017年度）
- ・ 大塚 健介（2015年度）
- ・ 大塚 健介（2014年度 男女共同参画WG事務局（委員長）として）

岩崎民子賞について

2011年度より放射線科学研究の活性化と日本放射線影響学会の発展に寄与した女性研究者を顕彰するために岩崎民子賞を設けています。これまでに9名の女性研究者が本賞を授与されています。

4. キャリアパス・男女共同参画委員会の取り組み（2019年10月～2020年9月）

✓ これまでの活動について

2014年度に当委員会が設置されてから、これまでに計6回のワーキンググループ会合、セミナーが開催されました。

✓ 第6回委員会企画セミナーについて

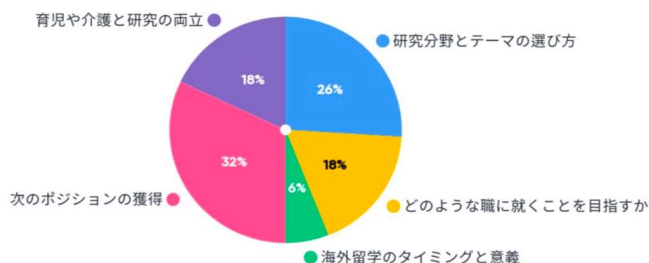
2019年度は、第62回大会（京都大学吉田キャンパス・京都府京都市）の1日目（11月14日）に、第6回委員会企画セミナーを開催しました。第一部では、京都大学理事・副学長の稲葉カヨ先生より「京都大学における男女共同参画の取り組み」についてご講演いただきました。稲葉先生は、京都大学男女共同参画推進センターの取り組みについて紹介された後、男女共同参画の実現のためには、女性側の意識改革や自身の能力を最大限に発揮する努力も大切である旨を述べられました。第二部では、「放射線影響科学から広がる多様な道～年代・性別の枠を超えて～」と題したパネル討論を行いました。大学院生からシニア研究者までの様々な年代の学会員5名をパネリストに迎え、会場全体の「リアルタイム意識調査」を行いながら、放射線影響科学から広がるキャリアパスにまつわる経験や考えを共有し、活発な意見交換を行いました。

✓ 大会における託児支援活動

2018年度より、育児中の会員の大会参加をサポートするために、会員の児童を対象として、大会期間中の託児支援を実施しています。2019年度は2度目の大会会場内託児所の設置・運営も行いました。

リアルタイム意識調査の結果

Q1. あなたにとって、キャリア形成上の一番の悩みや関心ごとは何ですか？



Q2. キャリアを形成していく中で、最も重要な要素、優先すべきことは何ですか？

